

## 式 辞

朝霧はれゆく富士嶺の樹木に早春の息吹が感じられる今日の佳き日に、多数の御来賓の皆様のお臨席を賜り、令和六年度愛媛県立大洲農業高等学校 卒業証書授与式を挙行できますことは、教職員並びに在校生一同にとりまして、大きな喜びであります。ここに厚く御礼申し上げます。

また、本校卒業五十周年を迎えられました第四十九回卒業生の皆様、本日は卒業式に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。御自身の高校時代を懐かしく思い出すとともに若い後輩たちが社会へ向けて巣立

つ姿を見守っていたただけると幸いに存じます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました六十七名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。学校創立百周年の節目にあたる今年度、最高学年となり、様々な周年行事を経験しながら、勉学や部活動に精一杯取り組むことができました。

中でも全国高等学校総合文化祭文芸部門の出場や農業クラブのプロジェクト発表三年連続の全国大会出場、そして農業鑑定競技優秀賞受賞、さらには、全国農業高校お米甲子園において「金賞」を受賞するなど、皆さんが本校で歩んだ足跡は、大変立派なものです。母校となる大洲農業高等学校で学んだという誇りを胸に、卒業後も自信を持って、堂々と

歩んでください。

保護者の皆様におかれましては、今日まで深い愛情を持って育てこられたお子様が、今日の佳き日を迎えられ、感慨もひとしおのことと存じます。これまで、お子様の成長の過程では、いろいろな御苦勞がおありだったと拝察いたします。保護者の皆様に、改めて心からお慶び申し上げます。

さて、卒業生の皆さんが生きるこれから  
の時代は予測困難な時代であり、一層先行き  
が不透明となる中、私たち一人一人、そして  
社会全体が、答えない問いにどう立ち向か  
うのかが問われています。そこで、これから  
の時代を生きる皆さんへ、二つのことをお伝  
えし、はなむけの言葉といたします。

一つ目は、情報収集能力を高めてほしいということ。令和の時代に入り、生成AI等の様々な先端技術が各種産業に取り入れられ、これまで人類が経験したことのない急速な変化の中に私達は生きています。したがって、これから皆さんが生きていく社会においては、自分にとって有益な情報を瞬時に取捨選択し、正しく活用していくことが大切になってきます。正しい情報を正確に見極めていくことが、皆さんに課せられた大切な課題であると思います。

二つ目は、向上心を持って人生を歩み続けてほしいということ。です。

今年一月に日本人として初めてアメリカ大リーグの野球殿堂入りを果たしたイチロー

さんは、選出の際、満票選出に一票足りなかったことに対して、「不完全であるというのはいいことで、生きていく上で、不完全だから進もうとできるわけで、そこに向き合えるというのはよかったです。」と話されました。小さな努力を積み重ね、前人未達のキャリアを築かれたイチローさんらしい名言であり、大変感銘を受けました。皆さんもこれからの長い人生の中で、常に前向きに取り組み、目標を掲げ、夢を追い続ける人になってほしいと思います。

皆さんは、本校で学んだ三年間で、農学科でしか学ぶことができない実習や学校行事を数多く経験しました。そこでは先生や友人、地域の方々とともに汗を流し、その汗の中か

ら多くのことを学びました。その学びの中から向上心を持ち挑み続けてください。

変化の激しいこれからの時代は決して平坦な道ばかりではないでしょう。しかしながら、社会は必ず皆さんの力を必要としていきます。大洲農業高校で学び、身に付けた土魂を礎に、輝かしい未来に向かって、一步一步着実に歩み続けていくことを切に願っています。菓立ちゆく皆さんの御活躍を心から祈念し、式辞といたします。

令和七年三月一日

愛媛県立大洲農業高等学校長 永井伊秀